




Annual Report 2013 → 2014

<年次報告書>

挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に
 **NPO法人 G-net**



代表挨拶

G-netは、2001年に学生サークルとして発足し、既に13年あまり。長期実践型インターンシップ事業に着手して、満10年となりました。当初は柳ヶ瀬商店街にオフィスを構え、お祭りや雑誌制作を通じた地域活性化に取り組んできましたが、真の地域活性化には中小企業振興と、そしてそれを担う「右腕」人材の育成・コーディネートが必要だと考え、2006年にはお祭り・雑誌から事業撤退して、選択と集中を行い、現在の長期実践型インターンシップ事業を中心としたG-netへと転換してきました。

インターン事業は、これまでの積み重ねに加えて、安倍政権の成長戦略や産業競争力会議により大学生らのキャリア形成の一環としての長期実践型インターンシップの推進・強化が明示されるという追い風を受け、全国の大学等教育機関だけでなく、金融機関や行政といった中小企業支援を担う機関からも注目を集めるにいたりました。特に、岐阜という地域で実施していることも、全国で唯一地方都市にて自立事業として成果を出している先進事例として、注目を集めています。

G-netのホンキ系インターン事業は、現状の規模+ α 程度にとどめ、より高品質で有意義なプログラムとなるような品質の向上に今後、注力していきます。その中で得られたノウハウを言語化し、自社が大きくなるだけでなく、他団体へのノウハウ提供を通じてソーシャルインパクトの最大化を目指します。

三重県尾鷲市(尾鷲商工会議所)や愛知県岡崎市(コラボキャンパス三河)へのノウハウ移植に続き、次年度から名古屋地域の私立大学・新設学部ではG-netがノウハウ提供をする実践型インターンシップが目玉カリキュラムのひとつとして位置づけられるなど、ほか複数大学とのご連携も進みつつあります。

2013年に締結された岐阜信用金庫・百五銀行との事業提携に続いて、さまざまな機関との連携も進めながら、質の高い長期実践型インターンシップの提供拡大をめざします。

一方で、インターン経験者の大学卒業生数が毎年年間50名以上となる今後は、彼らのネクストステップにも地域の課題解決や、主体的に取り組める場の提供をしていくことが、真に地域を活性化するためのひとつの打ち手であると考えています。昨年までの「若者が選ぶ岐阜の魅力な会社100選」を通じて得られた魅力的な中小企業とのネットワークを活かし、今後、就職・採用支援の事業化にも乗り出していきます。

同時に、白書といった形で地域や若者を取り巻く課題研究を進め、若者と地場産業、シゴト…といった分野での専門家としての地位を確立していきます。

1年1年があっという間に過ぎていきますが、振り返ってみると、様々なヒトやコトとの出会いをいただき、またそのどれもがなくてはならないものだったのだと気づかされます。これまで、多くの方々にお世話になり、支えていただいたからこそ、ここまで走り続けてこられたのだと、実感しています。

本日も、そしてこれからも、チャレンジすることが何よりも尊いという想いを胸に、チャレンジする若者と、チャレンジを応援するオトナや経営者をつなげるため、G-netは伴走者として走り続けます。そんなG-netをどうぞ皆様で支えていただき、そしてぜひ、一緒にチャレンジを！

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人G-net
代表理事 秋元 祥治

チャレンジコミュニティの仲間たちから

「チャレンジコミュニティ」とは、10年前に経済産業省が始めた長期実践型インターン事業を行う組織のネットワーク。地域の中に若者たちが成長・挑戦できる舞台をつくるために全国各地でさまざまな活動をするコミュニティです。地域には、素敵な大人たちがいます。そんな大人たちが若者たちとつながることで、面白いプロジェクトが生まれ、地域が元気になると同時に、次の時代を担う人たちが育っていきます。

「地域こそ人が育ち、新たな挑戦が生まれる場」
その想いを共にする仲間たちから、10周年へのメッセージをお寄せいただきました。

NPO法人JAE 代表理事 坂野充

ホンキ系インターン10周年おめでとうございます！チヤレコ開始の2004年から事業を継続している2団体。お互いに紆余曲折ありましたが、この日を迎えられていることを大変嬉しく思います。これからは、より社会にとって必要な存在であり、社会を変革する存在として切磋琢磨していきましょう！



尾鷲のひと 伊東将志

10周年！おめでとうございます！秋元さんや南田さんをはじめG-netの愉快的仲間たちのこれまでの挑戦に最大限の敬意を表します。G-netにおかれましては、地域や若者を応援する団体【日本代表】として、今後もトップランナーで走り続けて行かれることを期待しております。



一般社団法人ワカツク 代表理事 渡辺一馬

ホンキ系インターン、10周年おめでとうございます！！10年間、続けることだけでも偉大であるのに、地域でチャレンジし続けているG-netのみなさまに脱帽です。今後も私たちのような後輩事業者の良いモデルになっていただけるよう、次のチャレンジに期待しております！（笑）



NPO法人北海道エンブリッジ 代表理事 浜中裕之

我々も北海道札幌市でインターンシップに取り組み8年が経ちました。G-netさんの取り組みを参考に札幌で取り組んでいることも多く、勝手に兄弟子のように思っております。兄越えを時々と狙っておりますが、変わらずその背中からたくさん学ばせて頂きたいと思っています。地域は違いますが、想いを共に頑張って参りましょう。



NPO法人札幌ビスカフェ 代表理事 石井宏和

秋元さん、G-netのみなさん。10周年おめでとうございます。岐阜から東海、そして世界へとフィールドを広げていかれるG-netさんの活躍を大変うれしく思います。歩む道は違えど目指す所は同じ。またご一緒できる日を原動力に、お互い日々現場に向き合って地域から変革を起こし続けていきましょう！合掌



コラボキャンパス三河 松林康博

ホンキ系インターン10周年、おめでとうございます。愛知県岡崎市でも、第一期生から成果が出ているのは、ホンキ系に関わる全ての人のおかげです。ホンキ系のブランド使わせてもらってるからには、ガシガシと岐阜にプレッシャーかけていきますので今後ともよろしくお願いします。



株式会社マチトピラ 代表取締役 末吉剛士

ホンキ系インターン10周年。おめでとうございます。G-netの10年の歩みはまさに、我が国の長期実践型インターンシップの足跡であり、地域で挑戦の生態系を創ろうとする我々のお手本であります。皆様の志の高さ、誠実さ、執念、そして夜の強さに対し、ただただ敬意を表すのみです。未来に資する企業G-netのさらなるご活躍を心より期待します。



チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

夢を実現できる地域を創る。

<http://www.challenge-community.jp/>

G-netのロードマップ

第一フェーズ
主体者

トークライブ
カウントダウン GIFT
ビーンズフェスタ
フリーペーパー

- ・01年10月 期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ
- ・トークライブイベントを定期開催
- ・「カウントダウンイベント」を開始(01~04)
- ・「ビーンズフェスタ」を開始(02~07)
- ・03年5月 NPO法人格取得
- ・フリーペーパー「ORGAN」・「Beans!」(03~07)



ビーンズフェスタ2002

第二フェーズ
伴走者としての挑戦

ホンキ系インターン
U・ターン支援

- ・経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択(04~06)
- ・「ホンキ系インターン」事業開始(04~)
 - ・岐阜大/四日市大/日本福祉大等 授業開始(07~)
 - ・三重県庁「東紀州事業」開始(08~11)
 - ・地域若者チャレンジ大賞 大賞受賞(10)
 - ・岡崎市役所と連携した岡崎市展開 開始(12~)
 - ・岐阜信用金庫/百五銀行との連携開始(13)
- ・地域協働型インターン事業開始(10~)
- ・岐阜県「U・ターン促進事業」協働開始(04~06)



ORGAN



インターンシップフェア

創業・独立支援
かけたす・東海若手起業塾

- ・経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催(06~)
 - ・一般社団法人SRプラットフォーム参画(11)
- ・インキュベーションオフィスかけたす(07~09)
- ・ブラザー工業協賛「東海若手企業塾」(08~)
 - ・岡崎市ソーシャルビジネス支援事業(11-)
- ・岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Biz(13~)



ホンキ系ガクセイ

第三フェーズ
コミュニティづくりへの挑戦

つながりコーディネート
コミュニティづくり

- ・経産省「新連携」「地域資源活用プログラム」等採択(06~)
- ・創業希望者と既存事業者のマッチング支援開始(07~)
- ・経営力向上にむけ理事会改組(09)
- ・学生向け情報サイト「ホンキ系ガクセイ」運営開始(14~)



地域若者応援ファンド

重層的な
若者支援

- ・東日本大震災復興支援活動(11)
- ・岐阜大学「学生ボラネット」開設(12~)
- ・賛助会員制度の発足(10)
- ・地域若者応援ファンドの新設(12~)

地域に根差し
地域で活躍する
若者の育成

- ・若者と企業と地域のための研究所 設立(12)
- ・『岐阜「中小企業と若者」就職白書』発行(12~)
- ・「日本仕事百貨」との事業提携締結(12~)
- ・『オモシロ中小企業26選~』発行(12)
- ・『若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選』発行(13)



若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選

継続的な地域の
みぎうで育成

- ・採用・就職支援事業「みぎうで」開始(14~)
- ・ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム(14~)
- ・グロービス経営大学院と連携した中小企業若手向け研修事業(14~)

G-netの事業戦略

■G-netミッション

地域へ愛着をもち、地域課題の解決に主体的に取り組んでいく人材育成を通じ地域活性化をめざす。

- ・地域内で育成した人材が、県外への就職を機会に流出。地域を担う人材の育成定着が必須。
- ・学生が在学中に地域に根差した魅力ある中小地場産業や、地域社会との接点が希薄。

G-net の取り組む打ち手

行政や他団体との連携



- ・【新卒】採用・就職支援事業「みぎうで」
逆指名型求人フェア
地域中小企業人材確保・定着支援事業
- ・【中途】日本仕事百貨
- ・【創業】地域若者チャレンジファンド
- ・長期実践型インターン
- ・地域協働型インターン
H22.23年度と内閣府受託事業
H24年度より岐阜大で単位化
- ・学生ポラネット推進協議会
- ・学生部「3charge」
- ・複数企業取材型インターンシップ
- ・大学と連携した授業プログラム
- ・中小企業を招いたイベント開催

- ・(財)岐阜県産経センター、ジンチャレ!と連携
- ・岐阜県中小企業連合中央会と連携
- ・H24夏より、事業提携し実施
- ・岐阜県、経済団体(岐阜県域)と連携
- ・岐阜県「産業振興ビジョン」での推進明記
- ・内閣府「若者雇用戦略」への明記
- ・岡崎市/尾鷲商工会議所、他地域支援
- ・岐阜県との連携、大学での単位化
- ・大学コンソーシアム連携事業として実施
- ・ぎふNPOセンター/岐阜県/岐阜大学と連携
- ・大学コンソーシアムでの連携事業として実施
- ・協働/連携したプログラム実施
- ・岐阜県や大学、中小企業との連携実施

■事業実施のポイント

意欲ある人々のチャレンジを支援し 共感を呼ぶ成功事例を創出し、挑戦を誘発していく

■G-netの存在意義は？

- ・地域産業を担う主体的/自律的な人材を育む仕掛けや、取り組みが必要だ。
- ・大学の、真に地域に開かれ、社会に有用な人材育成の場への転換は、我々が担うべき役割だ。
- ・都会より地域、大企業より小企業、衰退より革新…、新たな社会での生き方像を示し、ひっくり返す存在へ。
- ・本当に地域を変えていくことにこだわる。
- ・「活動すること」でなく、変革をし、成果を上げることにこだわりきる。

2013年度事業概況

■収支

収入 72,124,273円 (前年度: 52,216,742円 前年度比: 138.12%)
 支出 75,370,902円 (前年度: 51,887,956円 前年度比: 145.25%)
 収支差 -3,246,629円 (前年度: 328,786円)
 正味財産 -2,476,313円

自主財源35.68%、行政委託53.88%、補助・助成10.43%、その他 0.01%

※小数点以下第三位切り捨てのため、合計が100%になっておりません。

■インターン事業

売上 26,689,532円 (前年度: 27,185,673円 前年度比: 98.17%) (売上に占める割合: 37.00%)
 長期実践: マッチング件数 のべ33社(前年度: 27社) 45名(前年度: 44名)
 地域協働: マッチング件数 のべ25社(前年度: 19社) 34名(前年度: 41名)
 フェア・説明会参加学生数 612名(前年度: 540名 前年比: +72名)
 ー岐阜県実践型インターン事業受託

■創業・中間支援事業

売上 1,667,668円 (前年度: 10,447,786円 前年度比: 15.96%) (売上に占める割合2.31%)
 主要事業: 東海若手起業塾、創業経営支援セミナー等

■就職・採用支援事業

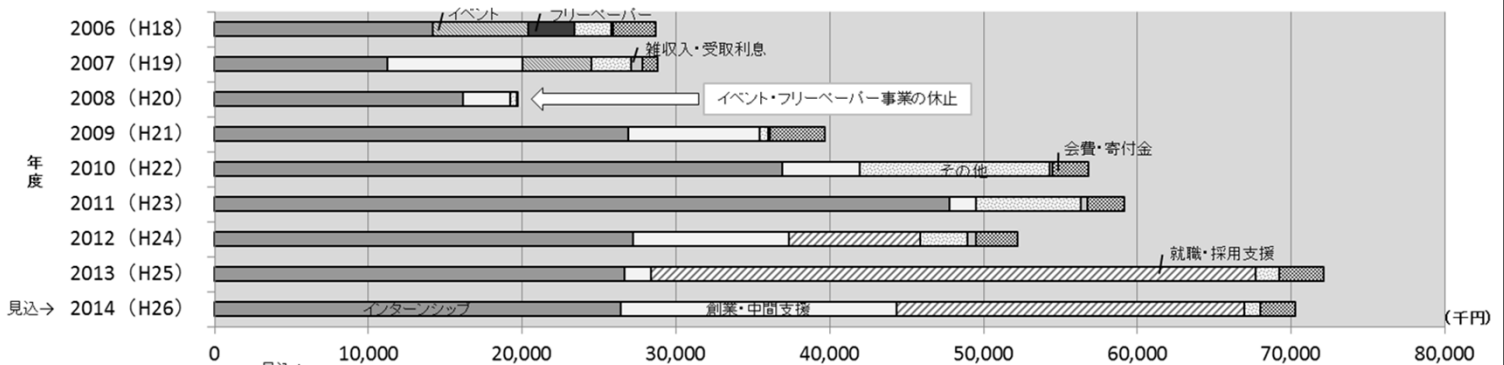
売上 39,338,852円 (前年度: 8,518,800円 前年度比: 461.78%) (売上に占める割合54.54%)
 主要事業: 若者が選ぶ岐阜の魅力な会社100選事業等

■その他の事業

売上 4,428,221円 (前年度: 3,095,220円 前年度比: 143.06%)
 主要事業: 賛助会費、寄付、講演、チャレンジ応援ギフト等

■全体 収入の構成推移

収入内訳の推移



| | 2014 (H26) | 2013 (H25) | 2012 (H24) | 2011 (H23) | 2010 (H22) | 2009 (H21) | 2008 (H20) | 2007 (H19) | 2006 (H18) |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ■インターンシップ | 26,400,000 | 26,689,532 | 27,185,673 | 47,817,961 | 36,891,831 | 26,880,211 | 16,128,726 | 11,254,835 | 14,162,252 |
| □創業支援・中間支援 | 17,962,754 | 1,667,668 | 10,165,734 | 1,715,463 | 5,077,596 | 8,584,174 | 3,104,047 | 8,778,841 | 0 |
| ☑就職・採用支援 | 22,620,000 | 39,338,852 | 8,518,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ■イベント | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,467,603 | 6,210,613 |
| ■フリーペーパー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,014,300 |
| □その他 | 1,000,000 | 1,504,866 | 3,095,220 | 6,825,640 | 12,353,154 | 548,046 | 432,190 | 2,580,716 | 2,387,915 |
| ■雑収入・受取利息 | 12,000 | 12,589 | 531,133 | 386,873 | 155,322 | 120,967 | 9,181 | 735,615 | 172,788 |
| ■会費・寄付金 | 2,305,000 | 2,910,766 | 2,720,182 | 2,393,768 | 2,328,030 | 3,533,769 | 0 | 999,475 | 2,713,600 |

ホンキ系インターンシップ

長期実践型インターン事業は堅調。差別化に向けてコーディネートの質向上へ注力。

13

33

社

受入企業
(のべ)

← 27社

45

名

インターン
学生数

← 44名

25

大学

授業等
連携大学

← 17大学

- 大学向け勉強会の開催、学内説明会など大学との連携進む。
 - － 大学教職員向け勉強会の開催
 - － 複数大学にて学内説明会の実施。キャリアセンターとの連携強化
 - － 岐阜大学と連携したインターンシップ教育白書の作成
- 企業
 - － 継続的な受入れを行うリピート率の向上
 - － 企業向け勉強会の定例化に向けて研修プログラムを試行錯誤
- 学生
 - － ハタモク、グロービスなど外部団体との連携による学生募集の母集団拡大
- 他地域展開
 - － 尾鷲商工会議所の自立化、コラボキャンパス三河(岡崎)立ち上げ開始



複数コーディネート団体で「地域仕事づくりチャレンジ大賞東海予選」開催

他地域展開もいよいよ本格化。東海のインターンプラットフォーム形成を目指す。

14

37

社

受入企業
(のべ)

← 33社

55

名

インターン
学生数

← 45名

30

大学

授業等
連携大学

← 25大学

- 企業開拓・サポート方針
 - － 岐阜・愛知県企業、地場産業企業を中心に新規企業開拓を推進
 - － マッチング率向上と、インターン成果の改善に向けた研修強化
 - － インターン運営委員会(仮称)の設置
- 大学連携
 - － ゼミとの連携の推進などによる大学/教員推薦制度の確立
 - － 名城大学、名古屋学院大学等との連携を強化
 - － 実践型インターンだけでなくインターンシップ全般の設計支援
- コーディネーター人材の育成と、ノウハウの他地域移転支援
 - － コーディネーター育成プログラム開発、社内研修によるブラッシュアップ
- 他団体と連携を通じた事業インパクトの拡大
 - － 実践型インターンシップの東海地方プラットフォームの確立



グロービス名古屋校でのインターンフェア

地域協働型インターンシップ(4-6週間インターンシップ) シゴトリップ(複数企業取材型インターンシップ・2週間)

県外広報の拡大路線をやめ、連携大学を中心とした運営方法に切り替えた1年に。

13

16

受入企業
(のべ)

19社

34

インターン
学生数

41名

2 + 1

連携大学

コンソーシアム
(岐阜県内22大学)

■岐阜大学との連携をより強化

— 近隣大学との連携をより強化させるための準備段階として、県外広報の拡大路線をやめ、岐阜大学を中心としたプログラム運営へ方針変更。結果的に学生数は減少。

■学生コミュニティ形成に伴い多くのチャレンジを創出。

— 学生サポート、OBOGとの接点作りなどタテヨコの関係作りを強化したため、学生のコミュニティづくりが加速。

長期インターンシップや学生団体の立ち上げなど多くのネクストチャレンジを生み出した。

■近隣大学との連携を推進

— 岐阜大学、名城大学との連携を強化。次年度に繋がる関係性を構築。

■シゴトリップ(複数企業取材型インターンシップ)開始。

— 低年時(大学1-2年生)向けのキャリア教育プログラムとして実施。より幅広い層の学生や大学へのアプローチが可能となる。(参加学生数:79名)



郡上エリア
など受入
企業の範囲は
拡大



岐阜大学での説明会

各大学の教育目標に合わせた「実践型
教育プログラム」としての導入を目指す。

14

20

受入企業
(のべ)

16社

40

インターン
学生数

34名

5 + 1

連携大学

コンソーシアム
(岐阜県内22大学)

■大学連携の強化・共同企画の推進

— シゴトリップ(複数企業取材型インターンシップ)と地域協働型インターンシップを連携大学のキャリアカリキュラムに位置づけるかたちで、プログラム構築を進める。

— 大学が中心となって運営できるモデル作りの試行錯誤。

特に、名城大学、名古屋学院大学等の本格連携に向けてプログラム開発を進める。

— 学内コーディネーター育成に向けたFD及びSD研修の実施推進。

■企業開拓・サポート

— 企業側の成長を加速させるための、合同研修会を企画実施。

— 事業的な自立体制構築に向け、愛知県内の新規企業開拓を推進。



研修会



飛騨・郡上エリアなどの
地域問題とも向き合う

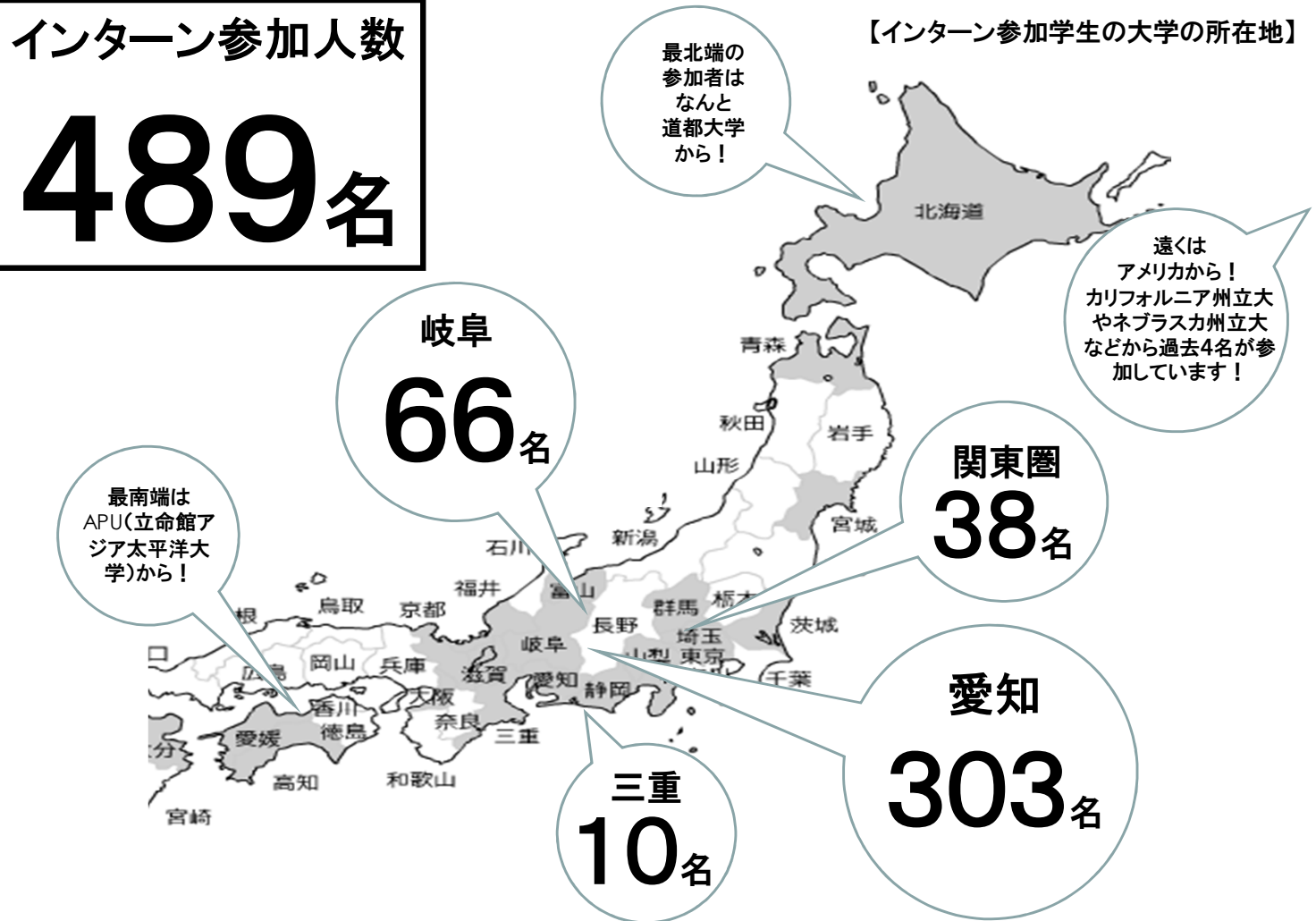
※企業数、学生数等は「地域協働型インターンシップ」のみ数値を記載。

インターンシップのこれまで

インターン参加人数

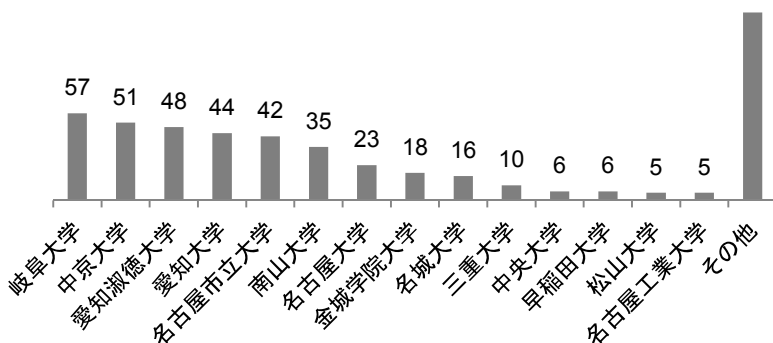
489名

【インターン参加学生の大学の所在地】



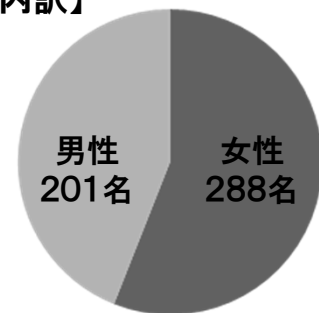
※数字は2014年8月現在

【大学別内訳】



参加学生数ナンバー1は岐阜大学。愛知では、中京大学／愛知淑徳大学／愛知大学／名古屋市立大学／南山大学から多くの学生が参加している。関東圏からの参加学生も増加。

【男女別内訳】



全体として女子学生の参加が増えており、2013年度は女子学生割合が高かった。地域協働型は男子学生の参加数が増えている。

主要な大学でインターンOBOGによる「インターン・コミュニティ」が継続しているだけでなく、教員との連携が加速し、学内での説明会開催など新たな接点を通じての参加が増えるようになった。OBOGによるイベント運営なども定着している。

同様に、受入れ企業の募集も口コミ紹介や他事業での関係性をきっかけに、着実に増えている。

新規事業領域 (就職/採用支援)

外部機関も巻き込んで、多くの中小企業とつながった1年。自立化への第一歩を。

13

■逆指名型求人フェアの継続・拡大実施

逆指名型求人イベントは前年度に引き続き岐阜県庁、岐阜県産業経済振興センターと連携し6月・12月の2回開催。合計約40社、学生50名が参加し、内定者も輩出。2014年から入社1年目として活躍している。

■「若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選」事業、完了

岐阜信用金庫、商工会などの外部機関も巻き込んで企業募集を実施した「100選事業」は、学生とともに100社取材し完遂。「100選認定式」には、学生・企業が約100名ずつ参加し、中小企業の魅力を学生に伝えるには何が必要かを考える場に。NHK「おはよう日本」等にも取り上げられた。

■企業支援機関、金融機関との連携

2013年6月に岐阜信用金庫、百五銀行と業務提携。インターンシップだけでなく、中小企業の人材確保の面でも連携して支援していくことを目指す。

■岐阜県版「成長戦略」審議会への参画

代表・秋元が審議会に参画し、中小企業と若者の就職/採用について意見具申



逆指名型求人フェア



自立化本格稼働。すばやくPDCAを回し、地域中小企業の「社外人事部」へ。

14

■中小企業の採用支援事業本格始動

採用支援事業「みぎうで」と名づけ、自主事業として本格始動の1年へ。これまでの受託事業などで得られた知見をもとに、16卒学生を対象に魅力的な中小企業と意欲ある若者をつなぐ「右腕」に特化した、「新卒紹介事業」など自主事業として、事業立ち上げを行っていく。

■中小企業庁「人材確保・定着支援事業」の受託

岐阜県中小企業団体中央会と連携し、中小企業庁「中小企業の人材確保・定着支援事業」を協働受託し、意欲ある若者に対して、知名度は低いが魅力的な中小企業を紹介していくセミナーや懇談機会を設定していく。

■白書第2弾/第3弾を発行予定

第2弾として採用に関する中小企業の実態や課題にせまる白書を8月発行予定。また第3弾として「中小企業での人材育成/定着」をテーマにした白書の制作を予定。

■企業支援機関、金融機関との連携

中小企業の「右腕人材」確保支援分野でも、多様な機関との連携強化へ



ホンネカフェ



シゴトリップ

新規事業領域 (創業支援・ファンドレイズ)

賛助会員・寄付付き自販機も増加 東海若手企業塾へは南田副代表が参画

13



■G-netへの賛助会員/寄付の本格募集

法人会員の獲得に向け、過去のインターン受入企業やイベント参加企業も含めてあらゆる関係構築を模索。また、既に社会人として活躍するインターンOBOGはじめ広く市民全般への賛助会員の募集も拡大して実施。若者の挑戦支援のためのコミュニティ強化も図った。

■「地域若者応援ファンド」助成対象事業の実施

H24年11月に実施した第一回助成で選ばれた2団体が、7月までに事業実施。「岐阜クリエイターツアー」では、首都圏のクリエイターが岐阜の伝統産業企業を訪問。非資金的支援事業の「夜空カフェ」は毎月の開催が定着し、人気イベントに。

■「オープンオフィス」の定期開催

2か月に一度、オフィスを開放して食事を実施。インターン受入れ企業の方や学生、インターンOBOGなど、G-netに関わる方が年齢等に関わらず語り合える場を作った。みなさまからの参加費の一部を寄付金へと還元させていただいた。

■東海若手起業塾、第6期を終了

H25年度も引き続き運営委員として参画し、起業家の個別支援をおこなった。本年度から、G-net副代表理事・南田がコーディネーターとして参加し、第6期生に対して事業計画のブラッシュアップなどを担当(研修機会としても活用)



岐阜クリエイターツアー



G-net若者チャレンジ応援ギフト

インターン受入企業

伊さんが半年間インターンした山川醸造のたまり醤油も販売中!

法人・個人ともに賛助会員数拡大へ。 創業支援機会を、職員研修として活用。

14

■G-netへの賛助会員/寄付の継続募集

引き続き、G-netコミュニティを形作るため、インターンOBOGだけでなく広く市民のみなさまへの賛助会員募集を実施。インターン参加や事業での関わりだけでなく、共に地域をよくする仲間としての賛同を集める。

■「地域若者応援ファンド」自販機設置箇所の拡大

ファンド資金を集めるため、寄付付き自販機の設置企業を引き続き協力依頼していく。現在、県内に7台が設置されている。

—2013年度の新規設置企業様

(株)のうひ葬祭、富田石油(株)、(有)大橋量器、山川醸造(株)、福田刃物工業(株) 他

■寄付付きギフト「若者チャレンジ応援ギフト」販売拡大

インターン受入れ企業と連携し、2013年にお中元・お歳暮用としてスタートしたギフトセットを、今年度から通年販売へとブラッシュアップ。

■東海若手起業塾は第7期も継続参加。

H26年度も引き続き運営委員として参画し、起業家の個別支援をおこなう。今年度は塾生の参加する合宿を主に担当する。



寄付付き自販機



東海若手起業塾

Tokai Young Entrepreneur Center
Beans Fund

「ホンキ系インターンシップ」10周年に寄せて

ホンキ系インターンシップ、10周年おめでとうございます。

地域での長期実践型インターンシップに取り組むNPOの先駆的存在としてスタートし、まさに道なき道を拓いていくチャレンジの10年、決して簡単な道のりではなかったと思います。踏ん張って歩みを重ねてこられました秋元さんはじめスタッフのみなさまのご努力に、心より敬意を表したいと思います。

今では、岐阜の若者たちの拠り所というだけでなく、全国の地域からモデルとされるような存在に成長をされました。特に中小企業にとっては、自社の新しいステージを拓く新規事業等に挑む手法としての長期実践型インターンシップのモデルを確立した存在として、メディア等からも注目されています。

ただ、今後ますますこの領域においてG-netが期待される役割は大きくなります。そこに備えて、ぜひみなさんには、学生を育て、企業の変革をお手伝いする専門性を着実に積み重ねていただき、地域が再生し、進化するための無くてはならない存在として信頼される基盤を確立していただきたいと思います。

特に、政府も今、大学の存在をもっと地域に開かれ、地域に貢献する存在として改革していこうという方針を打ち立てていますが、大学、学生と地域を繋ぐコーディネーターとして、しっかりパートナーシップを創り上げていただきたいと思います。そうすることで、次のステージとして企業、行政、教育機関等と若者を繋ぎ、その成長を支えると同時に未来へ導いていく、地域の生態系(エコシステム)のモデルを築くことができると思います。それはまさに今日本で最も必要とされている、地域再生のひな型となるはずです。

地域に希望を生み出す、創成へのキープレイヤーとして、もっともっと必要とされるであろうG-netの次の10年のご活躍、心よりご期待申し上げます。

2014年8月10日
ETIC. 宮城治男



宮城 治男 Haruo Miyagi

NPO法人ETIC.代表理事

1972年徳島県生まれ。93年、早稲田大学在学中に、学生起業家の全国ネットワーク「ETIC.学生アントレプレナー連絡会議」を創設。2000年にNPO法人化、代表理事に就任。
<http://www.etic.or.jp/>

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

平成25年度 活動計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | |
|----------------------|-------------------|-------------------|
| I 経常収益 | | |
| 1. 受取会費 | | |
| 受取会費 | 13,365,000 | 13,365,000 |
| 2. 受取寄付金 | | |
| 受取寄付金 | 1,942,739 | 1,942,739 |
| 3. 事業収益 | | |
| インターンシップコーディネーター事業収益 | 14,429,532 | |
| コミュニティービジネス・創業支援事業収益 | 1,667,668 | |
| 就職採用支援事業収益 | 31,817,576 | |
| その他事業収益 | 1,367,893 | 49,282,669 |
| 4. 補助金等収益 | | |
| 補助金収益 | 7,521,276 | 7,521,276 |
| 5. その他収益 | | |
| 受取利息 | 1,325 | |
| 雑収益 | 11,264 | 12,589 |
| 経常収益計 | | 72,124,273 |
| II 経常費用 | | |
| 1. 事業費 | | |
| (1) 人件費 | | |
| 給料手当 | 38,424,567 | |
| 雑給 | 100,000 | |
| 法定福利費 | 5,219,727 | |
| 厚生費 | 9,000 | |
| 人件費計 | 43,753,294 | |
| (2) その他経費 | | |
| 通信運搬費 | 174,868 | |
| 広告宣伝費 | 5,286,729 | |
| 減価償却費 | 476,971 | |
| 賃借料 | 1,953,266 | |
| 修繕費 | 125,276 | |
| 印刷製本費 | 2,774,782 | |
| 消耗品費 | 1,116,225 | |
| 水熱水料費 | 362,977 | |
| 旅費交通費 | 4,897,687 | |
| 租税公課 | 494,859 | |
| 交際接待費 | 115,769 | |
| 保険料 | 687,024 | |
| 通信費 | 558,183 | |
| 諸会費 | 237,003 | |
| 委託費 | 2,923,542 | |
| 新聞図書費 | 203,110 | |
| 地代家賃 | 1,945,752 | |
| 会議費 | 749,078 | |
| 燃料費 | 398,784 | |
| 研修費 | 96,192 | |
| 諸謝金 | 1,785,656 | |
| 奨学費 | 993,225 | |
| 雑費 | 798,117 | |
| 支払利息 | 642,271 | |
| その他経費計 | 29,797,346 | |
| 事業費計 | | 73,550,640 |

| | | | |
|------------------|------------------|------------------|--------------------|
| 2. 管理費 | | | |
| (1) 人件費 | | | |
| 給料手当 | 891,030 | | |
| 法定福利費 | 114,645 | | |
| 厚生費 | 354,398 | | |
| 人件費計 | 1,360,073 | | |
| (2) その他経費 | | | |
| 通信運搬費 | 5,560 | | |
| 広告宣伝費 | 20,252 | | |
| 減価償却費 | 20,994 | | |
| 賃借料 | 3,001 | | |
| 修繕費 | 5,511 | | |
| 印刷製本費 | 52,510 | | |
| 消耗品費 | 25,226 | | |
| 光熱水料費 | 15,977 | | |
| 旅費交通費 | 11,330 | | |
| 租税公課 | 108,867 | | |
| 交際接待費 | 3,091 | | |
| 保険料 | 5,596 | | |
| 通信費 | 21,723 | | |
| 諸会費 | 4,390 | | |
| 燃料費 | 2,467 | | |
| 新聞図書費 | 6,785 | | |
| 地代家賃 | 79,986 | | |
| 会議費 | 7,753 | | |
| 雑費 | 30,897 | | |
| 支払利息 | 28,273 | | |
| その他経費計 | 460,189 | | |
| 管理費計 | | 1,820,262 | |
| 経常費用計 | | | 75,370,902 |
| 当期正味財産増減額 | | | △ 3,246,629 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 770,316 |
| 次期繰越正味財産額 | | | △ 2,476,313 |

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成26年3月31日現在

平成25年度 貸借対照表

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------------|----------------|-------------------|--------------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 13,480,858 | | |
| 未収金 | 21,179,804 | | |
| 棚卸資産 | 350,500 | | |
| 前払費用 | 1,121,816 | | |
| 仮払金 | 218,435 | | |
| 未収入金 | 310 | | |
| 流動資産合計 | | 36,351,723 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1)有形固定資産 | | | |
| 車両運搬具 | 1 | | |
| 什器備品 | 16,337 | | |
| リース資産 | 923,300 | | |
| 有形固定資産計 | 939,638 | | |
| (2)投資その他の資産 | | | |
| 出資金 | 210,000 | | |
| 保証金 | 8,000 | | |
| 投資その他の資産計 | 218,000 | | |
| 固定資産合計 | | 1,157,638 | |
| 資産合計 | | | 37,509,361 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 短期借入金 | 26,000,000 | | |
| 未払金 | 1,935,782 | | |
| 預り金 | 395,230 | | |
| 仮受金 | 243,922 | | |
| 流動負債合計 | | 28,574,934 | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 10,450,830 | | |
| リース負債 | 959,910 | | |
| 固定負債合計 | | 11,410,740 | |
| 負債合計 | | | 39,985,674 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 770,316 | |
| 当期正味財産増減額 | | △ 3,246,629 | |
| 正味財産合計 | | | △ 2,476,313 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 37,509,361 |



NPO法人G-net

〒500-8844

岐阜市吉野町6-2 ブラザービル2階

Tel.058-263-2162 Fax.058-263-2164

URL: <http://www.gifist.net> (コーポレートサイト)

URL: <http://www.honki-i.net> (学生向けサイト)

URL: <http://migiude.gifist.net/> (就職・採用支援事業サイト)

Facebook : <https://www.facebook.com/Gnet.gifu>

【お願い】

2012年度より、賛助会員制度(※別紙参照)を本格的に運用しております。

G-netのサポーターとして、個人・法人問わず多くの方々に支えていただけますよう宜しくお願いします。